

JR東海労

4WD

大阪第一・二運輸所分会

No.50

2017年5月24日

会社提案「新幹線車内業務の見直し」

その後、協議は進展していますか！？

私たち、大一・大二運分会は4月11日付けで、ユニオン、国労に「共闘申し入れ」を行いました。残念ながら共に闘う意思表示はもらえませんでした。

しかし、「それぞれに頑張る」という決意は頂きました。

それから早、一ヶ月半が経過しました。

私たち東海労は、会社提案に対して、再三に亘る団体交渉開催を要求してきましたが、会社はこれを拒否してきました。

また、団体交渉開催要求と同時並行して、業務委員会において、会社に対して多くの解明と要求を行ってきました。

☆要員不足が常態化している実態では安全は守れない。

☆JRCPへの出向に関して、各運輸所から10～20名、強制出向は許さない。

☆業務委託による労働強化、車掌の乗り組み3名から2名という提案については反対である。教育や、出向者を先に出すという実施ありきの説明について反対である。

☆発注者側（JR）と請負業者（JRCP）との指示命令系統は、本当に大丈夫なのか？
会社のいう「異常時」は、偽装請負を誤魔化するための拡大解釈にすぎない。

先月、ユニオン大一・大二運分会は、組合員との3日間の総対話行動を行い、延べ188名の参加があったみたいです。

188名それぞれの意見はわかりませんが、今回の会社提案「新幹線車内業務見直し」に対して、現場からの熱い思いが発言されたと思います。

しかし、会社との協議において、ここで出された組合員の切実な意見が反映されているのでしょうか？

「それぞれに頑張る」という決意は頂いたものの、その後の協議は進展しているのでしょうか？

現場の意見が地本・本部に届いているのか！？現場の痛みを是非とも現場出身の本部森田副委員長に届け、本部のお手並みを拝見したいと思います！！